

私の好きな漢字

挑戦



仁比山小学校 6年
橋本 弥和 さん

私は前向きで力強い「挑戦」と書きました。今、四年生の頃からあこがれていた体育大会の応援団長に「挑戦」したからです。

指示を出してみんなをまとめるのはとても大変でしたが、仲間と協力して達成感と感動を感じることができ、とてもいい経験になりました。中学生になつても、いろんなことに意欲的に取り組んでいきたいです。



◆◆◆ 文芸コーナー ◆◆◆

◆俳句（ひしの実句会）

白梅の香りゆかしき君偲ぶ

香月富士雄

大根と太さを競う

ふくらはぎ

牟田口則子

二個残しをり来年の子守柿

井上 豊美

嬉しさが心に届く手話の指

眞島 壽子

嫁を待つ
祖母の姿に似てきたり

前田 久子

70代最後の年はケセラセラ

吉岡 明美

音なせる白糸の滝冬深む

畠石 勝子

ふはりと箸の長さかな

田原 静子

煮麵の

直会の昔を今に鰯かな

牟田 鶴美

◆短歌（神埼短歌会）

金秋のお宮の銀杏

葉を落とし

子らをころがす

スッテンコロリ

田中 と代

いつの世も

納豆だけはあるよう

眞島 永治

オレオレと

うちに息子は居りません

柳郷 勝吉

水上に

今季かぎりと立つ花織

ミラノ五輪へ金へと挑む

羽野 智子

忘れてたへそくりでたぞ
二人旅

島 信秀

◆◆◆ 文芸コーナー ◆◆◆

忘れてたへそくりでたぞ 二人旅

島 信秀

大根と太さを競う

ふくらはぎ

牟田口則子

二個残しをり来年の子守柿

井上 豊美

嬉しさが心に届く手話の指

眞島 壽子

嫁を待つ
祖母の姿に似てきたり

前田 久子

70代最後の年はケセラセラ

吉岡 明美

音なせる白糸の滝冬深む

畠石 勝子

ふはりと箸の長さかな

田原 静子

◆短歌（神埼短歌会）

金秋のお宮の銀杏

葉を落とし

子らをころがす

スッテンコロリ

田中 と代

いつの世も

納豆だけはあるよう

眞島 永治

オレオレと

うちに息子は居りません

柳郷 勝吉

水上に

今季かぎりと立つ花織

ミラノ五輪へ金へと挑む

羽野 智子



人のうごき [令和7年12月末現在]

- 人 口：29,897人
(対前月-33人)
(男性／14,424人 女性／15,473人)
- 世帯数：12,612世帯
(対前月-12世帯)



今月の納期

- 固定資産税(4期)
- 国民健康保険税(9期)
- 浄化槽使用料(12～1月分)
- ※使用人員の確認をお願いします



市の広報番組

- 「よかね神埼」
ぶんぶんテレビの14分番組
月・火・木・金・日曜日
12:30～、21:30～
※番組編成により放送時間が変更になる場合があります

きらり輝く 神埼人 かんざきじん

Vol.6

神埼のまちで、
きらりと輝く活躍をされている
方達を紹介します。

地元に誇れる銘菓を

町の小さな和菓子屋、3代目の挑戦



大串製菓
3代目・和菓子職人
おおくし ひさあき
大串 久昭さん

甘く香ばしい香りが立ちのぼる工房で、黙々と菓子を焼く大串久昭さん。手にしているのは、神埼の特産「菱」の外皮を練り込んだ「ひしほうろ」です。いまでは神埼を代表するお菓子として親しまれていますが、その誕生の裏には、職人としての苦労と覚悟がありました。会社員だった大串さんは、38歳で家業を継ぐ決心をしました。和菓子づくりは未経験。頑固な父からは何も教わらず、右も左も分からぬ中での再出発でした。地元の菓業青年会で出会った仲間たちに支えられ、少しずつ和菓子職人としての感覚を磨いていきました。

転機は、2009年に産官学の連携で始まった『ひしほうろ』開発です。「正直、最初は頼まれたから作るっていう軽い気持ちだったんです。実際に作ってみると想像以上に難しくて…。焼きたてはいいけど、30分もすると硬くなってしまう」。何回も試作を重ね、ようやく理想の味にたどり着いたのは半年後のこと。「神埼には銘菓がなかったから、地元の特産品を生み出したい一心でがむしゃらでしたね」。

一方で、近年はヒシの実を育てる農家がほとんどなくなり、原料の確保が深刻な課題

となっています。「ヒシがなくなると、ひしほうろも作れなくなってしまいます。神埼の手土産としてすっかり定着した今、途絶えさせるわけにはいかない」と切実な思いを語ります。それでも大串さんは前を向きます。今春には、神埼の伝統工芸・尾崎人形とコラボした新しいお菓子を発表予定です。「地元の文化をつなぎながら、笑顔になれるお菓子を作りました」。地域に根ざし、菓子づくりに情熱を注ぐ大串さんの挑戦は、神埼の魅力を新しい形でたくさんの人々に届けてくれることでしょう。



新年も気付けば今日から2月。一日、一日が本当に早く感じられます。日々、集中して市政にあたっているせいか、それとも、歳のせいかな? いずれにしても、「令和7年度」も残すところ2ヶ月ということで、今年度の各事業の進捗を確認し、次年度に向けた準備を進めたいと思います。

最近、私がよくお伺いする話として「自分たちでは(対応が)難しくなってきたので、市役所で対応して欲しい」という話があります。この話を聞くと、本当に少子高齢化が進み、影響が出てきたなと感じます。市民の皆さんのご協力により守られてきた地域が、若者の減少により維持できなくなってきたことは本当に残念なことです。行政として「何とかしないでは!」と日々、奮闘しています。

しかし一方で、行政も懐事情が厳しくなってきています。市の予算を見ると、一般会計は240億円を超える予算規模となっていますが、内訳は、社会保障関係経費やインフラ維持のための経費が大部分。政策的に使えるお金は限られています。未来への投資は本当に難しくなっています。とは言え、市民の皆さんの中を踏まえ、一つずつ課題解決に向け、前へ、

市長コラム

前向きな想い



神埼市長
實松 尊徳

市長交際費の公表 令和7年12月分

項目	件数	支出額(円)
弔慰	1	15,000
御祝	0	0
激励	0	0
会費	2	9,000
見舞い	0	0
その他	2	10,400
計	5	34,400

前へ!
へ!

先日、まちづくりのヒントを探すため、一般社団法人佐嘉再興パートナーズが主催するまちづくりイベント「佐賀ばつなごう会議2026」に参加しました。会場は、多くの人でにぎわい、活気に溢っていました。参加者は皆「新たな事業に挑戦したい」「仲間をつくりたい」「お店を残したい」など、前向きな想いを持った人ばかり。参加者と話をしていて、本当にワクワクしました。少子・高齢化が進む今日、閉塞感を打破するのは、この「前向きな想い」を持つ人たち。「こういう想いを持つ人たちが溢れるまち・神埼を実現したい」、そう思って会場を後にしました。